大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム主催

2024年度活動報告会・2025 年度第1回共同 FD 研修会実施報告

研修会テーマ	教育 DX 時代に求められる授業設計
研修会目的	近年の教育現場では、進化するデジタル技術の活用や学修者主体の学びを実現する授業設計が求められている。本研修会では、AI や DX(デジタルトランスフォーメーション)を取り入れた授業の実践事例を通して、学修の質を高める取り組みや高等教育における効果的な授業改善を考える機会とする。
開催日時	2025 年 8 月 2 日(土) 14:00～15:30 (活動報告会との同時開催)
開催形式	Zoom によるオンライン配信 ※録画視聴あり
出席人数	93 名(アンケート回答数)
プログラム	第一部 2024 年度活動報告会 ・2024 年度活動報告　推進委員会委員長 千葉商科大学教授 朽木 量 ・共同研究報告「共生のための文化芸術プログラム(ACCS = Art and Culture for Convivial Society)」 和洋女子大学准教授 小野真嗣(研究期間;2023年 10 月～2024年 9 月 ※2022 年 10 月より継続) 第二部 2025 年度第1回共同 FD 研修会 ・講演1「DX や数理・データサイエンス・AI を活用した効果的な授業方法」 千葉商科大学 総合政策学部准教授 長尾 雄行 ・講演2「AI を積極的に利用する新しい教育プログラムの開発」 和洋女子大学 全学教育センター教授 鬘谷 要
アンケート結果	活動報告会は「良く理解できた」「理解できた」との回答が 100%であった。 共同 FD 研修会は「大変参考になった」「参考になった」との回答が 100%であった。 意見や感想は以下のとおり。(一部掲載) ・2024 年度活動報告会「共生のための文化芸術プログラム(ACCS = Art and Culture for Convivial Society) 」では、文化芸術を通じて多様な人々が共に生きる社会の実現を目指す取り組みが紹介され、非常に刺激を受けた。学生や地域住民が主体的に関わることで、教育的効果も高まっていると感じた。 ・活動報告からコンソーシアムにおける活動が着実に地域や企業と強く密着しつながりを広げていると感じた。共同研究報告では2年間の活動報告からさらに継続的に取り組もうとしており、教員だけでなく関わった学生の成長にも繋がっているだろうと思えた。 FD では教育 DX の具体的手法などを伺うことができ、まさに日進月歩の分野であると思った。両校とも文系の学生を対象とするため、先生方もあらゆる角度から興味を持って取り組んでもらうよう苦心されていることがよく理解できた。 ・2024 年度の活動報告では、地域コミュニティの活性化に資する 3 大学それぞれの多様な試みと実践を知り、ぜひ継続した取り組みに繋げ、発展させていければと感じた。共同 FD では、教育 DX 時代の授業紹介、AI の可能性をご教示いただき、変化する世界に人間がどのように希望や活路を見出していくかということへ思いを至らせることができた。 ・文系教員のため、専門用語の理解が難しかった。しかし、近年、「生成 AI」が日常生活で多く聞かれるようになってきた。そして、本日の講演会に参加して、大変原理なものであること、さらに、今後の高等教育にも大変、有効なものであると改めて感じることができた。そして、一番、印象に残った言葉として、「AI に人間が使われるのではなく人間が AI を使うこと」「あくまでも正解は人間が出すもの」これを次世代に伝えていきたいと感じた。

(大学コンソーシアム市川事務局/大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム事務局 作成)

以上